

第52代東京都議会議長として

◎都議会自民党の政治資金不記載問題での議長辞職により、2月10日の本会議において選挙が行われ、第52代東京都議会議長に就任しました。文京区選出都議が議長になるのは、昭和31年以来69年ぶりのこととなります。重責を果たすためにも選挙運動期間中を含め任期満了までしっかりと議長公務に取り組んでまいります。



私もお 応援します

増子ひろきさんは幹事長、議運委員長を歴任し、現在は議長の重責を担うまさしく東京都議会のかなめです。あなたの一票を増子ひろきさんに託してください。

小池百合子

文京区長

成澤 廣修

後援会長

日本小児科医会名誉会長

松平 隆光

増子ひろきがめざす都政

東京が国をリードする

国政ではなかなか進まない多くの課題に対して取り組んできた政策は、受動喫煙対策やコロナ禍での協力金制度、子育て・教育支援、カスタマーハラスメント対策など枚挙にいとまがありません。これからも国に先駆けて都民ファーストの政策を実現してまいります。

子育て日本一の東京へ

国では少子化による人口減少が始まっています。都民ファーストの会は小池知事と連携して、東京以外の地域から羨ましがられる出産・子育て・教育支援を行ってきました。婚率率も有配偶出生率も全国平均を上回ります。これからも女性活躍施策の充実とともに、出産・子育て・教育にお金のかからない東京を目指してまいります。

都民のいのちを守る

都政が先ず行わなければならないことは、都民の生命、財産、暮らしを守ることと心得ています。首都直下地震や南海トラフ地震に対して考えうる全ての対策を講じなければなりません。「備えよ、常に」をモットーに地震や風水害、噴火や感染症などあらゆる災害対策に万全の備えをいたしてまいります。またコロナ後の変化により病院の経営が危機に瀕しています。都民が医療を安心して受けられるように地域医療を守ってまいります。

物価高対策を万全に

コロナ後のインフレーションや国際情勢や円安などによる物価高に多くの都民が苦しんでいます。これまでも東京都独自の光熱水費対策などを小池知事に求めてきました。これからも状況を常に的確に判断し、対策を提言してまいります。

プロフィール

昭和34(1959)年生まれ、亜細亜大学を卒業後、会社員を経て衆議院議員秘書、平成3(1991)年から文京区議会議員4期、平成11(1999)年第35代文京区議会議長、平成17(2005)年東京都議会議員初当選、現在4期目、経済・港湾委員会委員長、都民ファーストの会東京都議団幹事長、議会運営委員会委員長、東京都税制調査会副会長、東京都名誉都民選考委員会委員、令和5年第45代東京都議会副議長、令和7年第52代東京都議会議長 ◎地域活動／保護司、文京区ファミリーバレーボール連盟会長、文京区シニアバレーボール連盟顧問、礪南スポーツクラブ顧問、ガールスカウト東京都第217団監査、大塚坂下南町会監査

都民ファーストの会公認
増子ひろきがめざす都政